

「郷育カレッジ」 ってなあに？



郷ちゃん

皆さんは「郷育」という言葉の意味を知っていますか？郷育カレッジキャラクターの私たちが説明します。

「郷」という字には、地域やふるさとという意味があります。「郷育」とは、地域・ふるさとによって育てられ、また地域・ふるさとを育てていく姿をイメージしている言葉です。



育ちゃん



郷ちゃん

その「郷育」の考え方を生かした独自の学習システムが「郷育カレッジ」です。

だから「郷育カレッジ」には、福津に関わりのある講師や講座がたくさんあります。ふるさとである福津のことをもっと知るために、皆さんも郷育カレッジを受講してくださいね。来年度は7月開講予定です。



育ちゃん

応援しよう！ 柔道ルーマニア チーム

福津市と古賀市は柔道ルーマニアチームの東京2020オリンピック事前キャンプ地です。
問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5079



▲原崎市長らと交流するタティアナ・ヨシペル大使(中央)

「ルーマニアナショナルデー in 福岡県を開催しました」
昨年11月の柔道チームのキャンプにあわせて、12月1日のルーマニアの統一記念日を祝うレセプションを、市内で開催しました。当日は、選手団の他、タティアナ・ヨシペル駐日ルーマニア特命全権大使、県内在住のルーマニア出身者のかた、キャンプ受け入れ時にご協力いただいたりるかたと共に祝いを行いました。福岡龍神太鼓の演奏による盛り上げもあり、両国の友好を深めることができました。



▲真ん中に星型が見える竹のスタードーム



▲クイズなどを交えた冨永さんの講座

GO！いくフェスタを
開催しました
郷育カレッジのイベント「GO！いくフェスタ」を2月1日に開催しました。イベントでは、冨永フロンテナさんによる公開講座「ルーマニアってどんなところ？」や郷育カレッジで実施している国際交流の講座を中心としたブースの設置、竹で作ったスタードームの展示などを行いました。

公開講座受講者からは「ルーマニアのことはあまり知らなかったが、少し身近に感じることができた」「オンラインピックでルーマニア柔道を応援したいと思う」などの感想が聞かれました。
郷育カレッジでは、平成15年の開講から数えて今回で延べ23カ国の国際交流の講座を開催しました。来年度も開催を予定していますので、郷育カレッジを通して、さまざまな国の生活や料理などの文化に触れてみませんか。

ふるさとメッセージ
郷育かわら版
VOL.182



郷ちゃん

育ちゃん

私たちのふるさと福津。この福津という「郷」で学び、「育」ることができたら。そして、地域を育てていけたら。皆さんも一緒に「郷育」に取り組んでみませんか。

問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5078

市300歳ソフトボール 大会の参加者募集

日時 5月10日(日) 午前8時開会 ※雨天時は中止
場所 なますの郷など4会場
対象 同一自治会内の18歳以上で構成された出場者の合計年齢が300歳以上のチーム
募集チーム数 最大64チーム
費用 1チーム千円
ルール説明会、抽選会 4月21日(火) 午後7時30分、市役所別館大ホール
受付期限 4月15日(水) 正午
受付方法 参加申込書をファクスかメール、または持参 ※参加申込書は各自治会長宛に送付します。また、実施要項などの資料は市公式ホームページでご確認ください
受付、問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5079、FAX 43・9004、メール goiku@city.fukuoka.jp

1月の囲碁・将棋会

上位者のみ掲載、敬称略

福津市将棋同好会

	1位	2位
A	川端 政憲	北原 秀誠
B	春日 久行	宇都 一男
C	神尾 弘行	仲上 徹志
D	花田 友行	花田 俊一
E	井上 安高	古閑 義久

連絡先 村上良明 ☎080・3973・8932

福津市囲碁会

	1位	2位
1	田中 英則	向井 麻郎
2	有山 伸司	斎藤 正俊
3	箱島 孝	廣瀬 博喜
4	柳川 満	満生 忠雄
5	永島 和美	中嶋 孚
6	島崎 一彦	肥高 勲

連絡先 井本雅文 ☎090・9796・1099

福津市実年囲碁会

	1位	2位
1	吉田 哲雄	尾崎 銀二
2	松尾 文雄	田中 英則
3	今泉 武志	井本 雅文
4	冨永 直邦	藤井 修
5	内場 和光	山口 忠男
6	柴田 広	永島 和美
7	能美 一丸	宮川 義信
8	荒巻 涉	宗平 正
9	武田 隆幸	肥高 勲
10	阿部 善行	牧田 英昭
11	白石 尚史	春藤 哲夫

連絡先 満生忠雄 ☎43・2420

津屋崎囲碁同好会

	1位	2位
A	今丸 眞	石松 良治
B	冨永 直邦	井本 雅文
C	中嶋 孚	宮川 義信
D	冨永 寛	佐藤 巨弘

連絡先 永島和美 ☎52・5610

地域の日

今回はアンビシャス広場の活動を紹介しします。



勝浦アンビシャス広場

イルミネーションの完成を見守る子どもたち

毎年恒例となっている勝浦イルミネーション。今年は勝浦郷づくり交流センターの開館を記念して、郷づくり推進協議会の皆さんと一緒に飾りつけを行いました。子どもたちが考えたデザインをもとに、地域の人たちの手も借りながら1月に広場のイルミネーションを作りました。完成後の点灯式では、美しく光る広場一帯に、子どもたちも歓声を上げていました。次回はクリスマス時期に飾ります。皆さんぜひ見に来てください。

心の歌

市内の愛好家の作品です。作品は数カ月に1度募集します。
募集期間 3月16日(月)～4月15日(水)の消印有効 ※募集期間以外の応募は無効

対象 市内在住の人 ※サークルなどの団体からの一括応募は不可。1人1枚、期間ごとに1首に限る。必要事項の記入漏れ、応募方法以外の方法による応募は無効

応募方法 官製ハガキに住所、氏名、電話番号、俳句・川柳・短歌の別、作品1首を記入し郵送。作品には、常用漢字を使い、楷書で記入。常用漢字以外の漢字を使うときは、必ず振り仮名を振ってください。掲載月などの指定はできません

問い合わせ、送先行 〒811-3224 福津市手光2222番地 福津市中央公民館 ☎43・2100

【俳句】

母の名の菊の盛りや母偲ぶ
ベランダを行ったり来たり馳の子
ただ一羽夫の後追う雀の子
薪ストーブ稽古に集う子頬紅し

畑迫 みさを
堀 司郎
藤井 和子
諸富 洋子

【川柳】

読む本は字の大きさが先ず決め手
新たな世の願いへ鈴の冴えわたる

都合 スミ
中原 恵子

【短歌】

若き日の家持も見む「奴山古墳」
万葉道に鶺鴒の舞う
うす陽さす清らかなガラスに息ふきて
亡き友の名を書きつけてみき

加地 弘昌
高武 志加子